

Around your World

「あなたの身近で役立つ八洲」

Interim Report

第71期 上半期 株主通信

2014.4.1 ▶ 2014.9.30 2015年3月期 上半期のご報告



入洲電機株式会社

証券コード：3153

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第71期上半期（2014年4月1日から2014年9月30日まで）における営業の概況ならびに決算の内容等についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業製造業において米国景気の回復や円安で事業環境が好転したものの、自動車・電気機械業界などと業務用機械・鉄鋼業界などの間に景況感のばらつきがみられました。また、国内設備投資は維持・更新需要を中心に堅調であるものの、世界経済の先行き不安など景気下振れリスクの懸念も残ります。

このような状況のなか、当社グループは、受注の拡大と収益力の強化に注力し、EPCの各フェーズのエンジニアリング力を高める技術営業の推進とビジネスネットワーク活用により、質の高い情報・商品・サービス提供に取組んだ結果、通期売上高に貢献する付加価値案件を中心に受注残高の積上げを実現するなどの成果をあげました。

配当につきましては、企業体質の一層の充実強化と収益力の向上を図りながら、将来の成長に向けた中長期的な資金需要を勘案しつつ、従来どおり安定的な配当を継続していくことを基本方針とし、年間配当金は1株当たり13円を予定しております。

今後は、真の技術商社として「八洲ブランド」を構築し、当社グループの持つ総合力を今まで以上に発揮してまいります。

そして、2年後の創立70周年を見据え、全社員の知恵と行動力を結集し、一致協力のもと「収益力の強化」「事業規模の拡大」を実現してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

太田 明夫

YASHIMAビジネスアウトライン —事業の全体像と特色—

「クオリティの高いサービスを通じ、お客様と共に価値を創造するベストプランナーとして環境配慮型社会に貢献する」—それが八洲電機のグループ経営ビジョンです。電機技術商社として高い技術力で、広く産業界・社会インフラが求めるソリューションを構築しています。

当期より各事業部の権限と責任の明確化および迅速な事業運営を行うために管理区分を見直し、「プラント事業」「産業システム事業」「社会インフラ事業」「電子デバイス・コンポーネント事業」の4セグメントといたしました。

プラント事業

鉄鋼プラント

製造・生産ラインを支援しています。



石油・化学プラント

エネルギーの供給、素材の生産に貢献しています。



産業システム事業

産業機器・省エネ

モノを生み出していく力をサポートします。



空調・冷熱・冷蔵

地球にやさしい、用途に応じた環境を提供しています。



照明

省エネで快適な環境づくりを提案します。



ITソリューション

最先端のテクノロジーを常にフォローします。



社会インフラ事業

社会・公共

社会が求めるインフラを創造しています。



車両・交通

安全、安心、快適な暮らしを提供しています。



電子デバイス・コンポーネント事業

電子デバイス・コンポーネント

先端技術を支援し、社会の発展に貢献します。



YASHIMAの役割

プラント事業



鉄鋼・石油・化学・エネルギーなどのプラント分野に最先端技術で貢献

事業内容

省エネ化、高効率化、老朽化に伴う設備管理の充実といったニーズに、最新のメカトロニクス技術や制御技術などを組み合わせ合わせたシステムを提供しています。

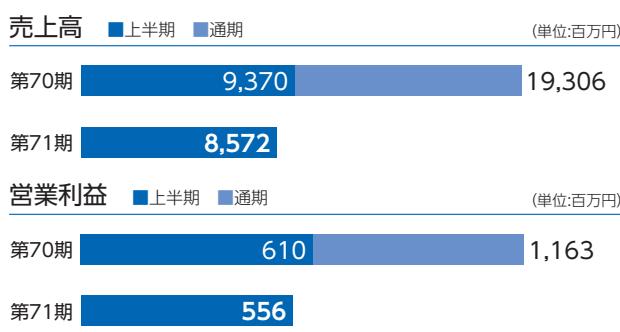
主要取扱製品 鉄鋼システム、自家用発電設備、受変電・配電設備、圧延設備、電気制御、計装制御、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど

CLOSE UP! **YASHIMAの概況**

エンジニアリング力を活かし、設備の新設、維持、更新と循環型ビジネスで貢献しております。プラントに必要な大型発電設備、制御機器、特高変電所設備などを提供しております。

また、コーポレートインを推進し、トータルソリューションでお客様のサポート体制を強化しております。

国内外において発電設備安全維持にトータルエンジニアリングで貢献



産業システム事業



医薬品・紙パルプ・機械・電気機器・精密機器など幅広い産業界の技術革新に貢献

事業内容

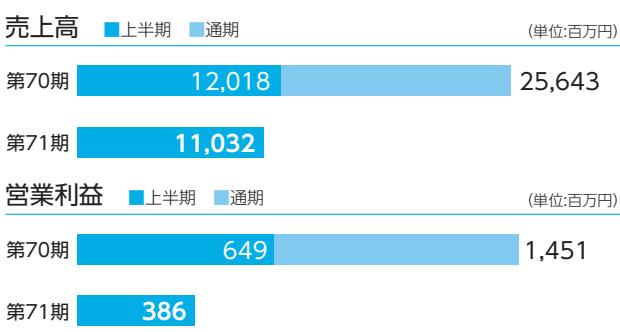
空調・冷熱・圧縮機などの環境制御、省エネに配慮した照明、ITソリューションなど、「安全」「安心」「信頼」の確保・推進をより具現化した製品システムを提供しています。

主要取扱製品 空調設備、ビル遠隔監視システム、照明設備、セキュリティシステム、受変電システム、電力監視システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど

CLOSE UP! **YASHIMAの概況**

ルームエアコン等に使用されているHCFC(R22)冷媒が2020年に国内生産全廃となる動きにあわせ、オゾン層を全く破壊しないHFC冷媒への切替えを促進し、各事業者様に環境保護にも貢献する設備更新を提供しております。また、オフィス・医療施設等を快適な空間にする家具の販売も行っております。

生活空間に快適をお届けする日立的ルームエアコン



社会インフラ事業



安全・安心・快適な暮らしを実現すべく環境と人にやさしい技術で社会に貢献

事業内容

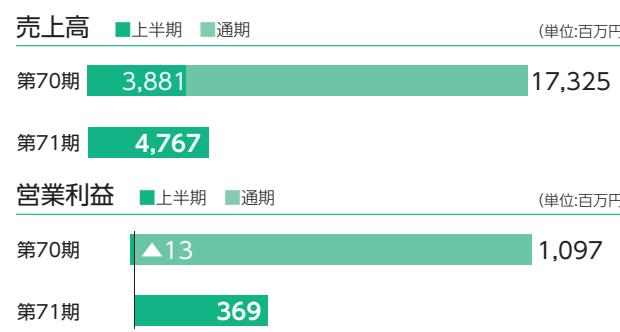
公共分野では、社会生活基盤を支えるインフラの整備・構築を手掛け、運輸分野では鉄道事業各社のニーズに幅広くお応えしています。

主要取扱製品 公共システム、空港関連システム、上下水道設備、鉄道関連システム、受変電システム、ホームドア、信号システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど

CLOSE UP! **YASHIMAの概況**

公共分野では、設備老朽化対策の需要が増加しております。また、運輸分野ではデジタルサイネージの技術を活かし、列車の運行状況等を駅利用者に分かりやすく伝える情報配信システムなどを民鉄各社様に提供しております。

東京急行電鉄(株)様に納めた運行情報ディスプレイの運行情報表示画面



電子デバイス・コンポーネント事業



先端技術のソリューションを実現し社会に貢献

事業内容

デジタル化・IT化が目覚ましく進展する社会生活のなかで、根幹を支える半導体や表示装置など様々な最先端デバイスのサプライヤーとして、社会の発展に貢献しています。

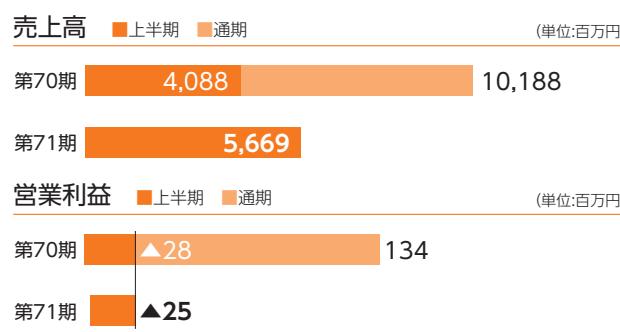
主要取扱製品 汎用マイコン、アナログ半導体、DRAM、SRAM、大容量IGBT、液晶、LCDドライバ、電池、センサなど

CLOSE UP! **YASHIMAの概況**

産業機器、医療機器、アミューズメント機器など幅広い分野へ汎用マイコンを中心に電子部品を提供しております。

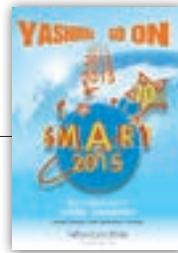
また、ソフト受託開発にも注力し、お客様の製品の組み込みソフト開発も手掛けております。実績も増加し、重要な事業の柱に成長しております。

©BNGI (株)バンダイナムコゲームス様のクレーンゲーム機
(株)イー・アンド・デイ様の血圧計
様々な所で使用されるルネサスエレクトロニクス製マイコン



中期経営計画『SMART2015』について

期 間	2011年4月1日～2016年3月31日の5年間
基本目標	持続的な成長企業を目指し、 企業価値・企業規模の増大に挑戦する。
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 コア技術によるソリューション事業の拡大 2 収益力増強による財務基盤の強化 3 事業の飛躍的拡大による企業価値の向上 4 創造・挑戦・協力の3要素に基づく戦略的思考人財の育成 5 企業倫理を中核にした社会的責任の取組
環境目標	当社が販売する省エネ製品およびシステム物件に含まれる省エネ製品の「CO ₂ 排出抑制貢献量の算定基準」を定め、目標とするCO ₂ 削減量を達成する。



『SMART2015』とは・・・

Strategy (戦略) Manpower (人財力) Action (実行力)

Responsibility (責任・信頼性) Technology (技術)

※1 コア技術

当社は、システム設計などのエンジニアリングから施工・管理まで幅広いニーズにお応えする技術力を有しています。

コア技術

電機・制御システム ▶ 電源・生産機械、電機制御、計装制御
 交通システム ▶ 変電、設備、監視
 組込システム ▶ 半導体、マイコン制御
 環境システム ▶ 空調、冷熱、照明
 情報システム ▶ セキュリティ、ITソリューション、通信

中期経営計画『SMART2015』の目標完
成などの環境とお客様に貢献してまいり
施策に取り組んでまいります。

1 技術ソリューション機能強化による「収益の拡大」

お客様密着体制などの営業力とコア技術^(※1)などの技術力の連携と、お客様サポート体制を強化し、コーポレートイン^(※2)を鉄鋼、石油、鉄道などの様々なお客様に拡大してまいります。そして、トータルソリューションとして付加価値を提供し、お客様に貢献してまいります。



遂に向け、電機技術商社としてCO₂削減・省
ます。そして、2014年度は以下2つの重点

2 ビジネスネットワークの活用による「事業規模の拡大」

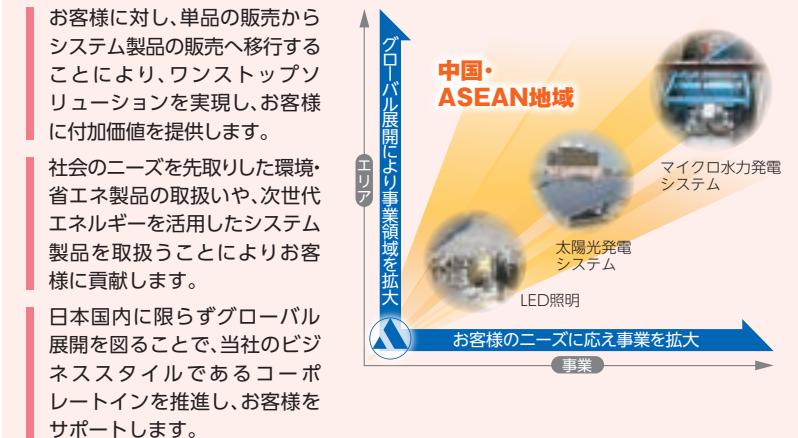
日立グループ各社の特約店としての機能を発揮しつつ、ビジネスネットワークを活用し、様々なビジネスパートナーの幅広い商材を複合的に提案し、ワンストップソリューションで最適なシステムとして提供することで、お客様に貢献してまいります。

※2 コーポレートイン

お客様の事業所内に事務所を設けたり、専門技術者が現場に常駐するなど、お客様との信頼関係からなる当社独自のビジネススタイル。
お客様の身近で、あらゆるニーズに迅速に対応しています。

『SMART2015』事業戦略・・・エリア・事業の拡大

CO₂削減・省エネなどの環境と、お客様に貢献することによりエリア・事業を拡大してまいります。



『SMART2015』収益力の増強・・・組織再編 (マトリックス戦略)

横断的事業ソリューション



セグメントに基づく4分野の事業部制(アカウント)を導入し、ソリューション機能を事業部に対して横断的に組織化しました。
電機技術商社として5つのコア技術を最大限に活用し、またコア技術を組み合わせてソリューションを提供し、お客様に貢献することで収益力を増強してまいります。

事業部制 アカウント

連結貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当上半期 2014年9月30日現在	前期 2014年3月31日現在
資産の部		
1 → 流動資産	35,594	47,078
固定資産	4,953	4,993
有形固定資産	996	984
無形固定資産	1,024	1,196
投資その他の資産	2,932	2,812
資産合計	40,548	52,071
負債の部		
2 → 流動負債	24,145	35,303
固定負債	2,433	2,587
負債合計	26,579	37,890
純資産の部		
株主資本	13,879	14,121
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	11,257	11,499
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	△272	△377
その他有価証券評価差額金	262	204
退職給付に係る調整累計額	△534	△582
少数株主持分	361	436
純資産合計	13,968	14,180
負債純資産合計	40,548	52,071

連結損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当上半期 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	前上半期 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日
売上高	30,041	29,358
売上原価	25,075	24,664
売上総利益	4,966	4,694
販売費及び一般管理費	4,721	4,416
営業利益	244	277
営業外収益	83	82
営業外費用	36	20
経常利益	291	339
特別利益	1	30
特別損失	6	0
税金等調整前四半期純利益	286	370
法人税、住民税及び事業税	98	109
法人税等調整額	34	64
法人税等合計	133	174
少数株主損益調整前四半期純利益	152	195
少数株主利益	47	39
四半期純利益	105	156

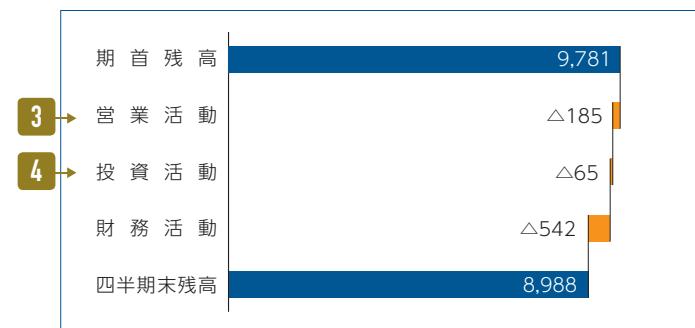
連結キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：百万円)	
	当上半期 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日	前上半期 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△185	504
投資活動による キャッシュ・フロー	△65	△11
財務活動による キャッシュ・フロー	△542	△395
現金及び現金同等物の 増減額	△793	96
現金及び現金同等物の 期首残高	9,781	7,176
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,988	7,273

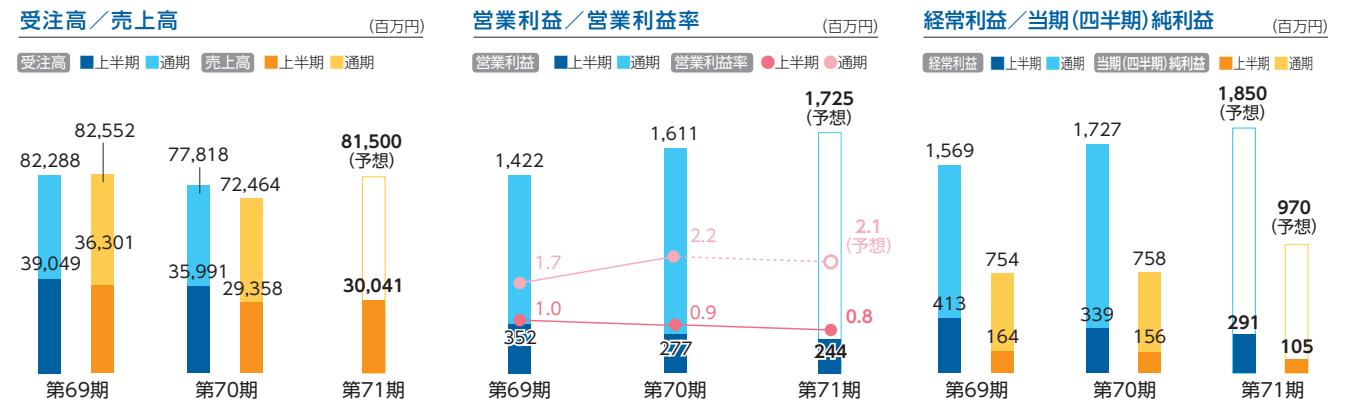
資産の状況



キャッシュ・フローの状況



財務ハイライト



ポイント解説

- 1 流動資産** 前期末に比べ114億83百万円減少。
(主な要因) 商品7億2百万円増加、受取手形及び売掛金86億35百万円減少、未収入金30億13百万円減少。
- 2 流動負債** 前期末に比べ111億57百万円減少。
(主な要因) 支払手形及び買掛金66億99百万円減少、未払金38億36百万円減少。
- 3 営業活動によるキャッシュ・フロー**
1億85百万円減少(前年同期は5億4千万円の増加)。
(主な要因) 主なプラス要因として、売上債権の減少額86億19百万円、未収入金の減少額30億13百万円。主なマイナス要因として、仕入債務の減少額69億73百万円、未払金の減少額37億77百万円。
- 4 投資活動によるキャッシュ・フロー**
65百万円の減少(前年同期は11百万円の減少)。
(主な要因) 主なプラス要因として、投資有価証券の売却及び償還による収入1億53百万円。主なマイナス要因として、投資有価証券の取得による支出1億56百万円、有形固定資産の取得による支出1億9百万円。

連結経営指標の推移

(単位：百万円)

	2012年3月期		2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期	
	上半期	通 期	上半期	通 期	上半期	通 期	上半期	通期(予想)
受注高	37,884	75,460	39,049	82,288	35,991	77,818	37,116	—
売上高	35,365	75,173	36,301	82,552	29,358	72,464	30,041	81,500
経常利益	804	1,813	413	1,569	339	1,727	291	1,850
当期(四半期)純利益	410	889	164	754	156	758	105	970
純資産額	12,359	13,768	13,443	14,238	14,246	14,180	13,968	—
総資産額	42,400	49,088	43,083	48,296	39,179	52,071	40,548	—
有利子負債	632	881	814	715	633	593	453	—
1株当たり純資産額(円)	624.63	614.15	599.53	634.85	633.98	631.02	624.72	—
1株当たり当期(四半期)純利益(円)	21.37	44.52	7.56	34.65	7.20	34.82	4.85	44.53
自己資本比率(%)	28.29	27.25	30.30	28.63	35.25	26.39	33.56	—
ROE(%)	3.44	7.06	1.25	5.55	1.13	5.50	0.77	—
ROA(%)	0.97	1.95	0.36	1.55	0.36	1.51	0.23	—
従業員数(人)	913	956	952	935	955	955	974	—

東京モノレール株式会社様新型車両「10000形」が運行を開始しました。



新型車両「10000形」出発式の様子。
当社 常務取締役 松尾裕之(写真右より一人目)が出席しました。



2014年7月18日(金)羽田空港第2ビル駅ホーム上で『東京モノレール開業50周年記念 新型車両「10000形」出発式』が東京モノレール株式会社様の主催で開催されました。

この新型車両は、国内外のお客様のニーズにお応えするため、より“スマート”に、より“安心”にご利用いただけるよう車内設備を充実し、乗降客の快適性向上を謳う、同社のコンセプト“スマートモノレール”の実現に向け、株式会社日立製作所交通システム社が製造し、当社が納入した車両です。

また、人と環境に優しい“スマート”な車両を目指し、「省エネルギー性」「環境性」にもこだわり、最新技術を積極的に採用するなど、羽田空港のより一層の国際化を見据えた日本の玄関に相応しい車両となっています。

機会がありましたら、ぜひご利用ください。

「マイクロ水力発電システム」などの回転して発電するシステムにおいて、電力を安定的に活用する装置について特許を取得しました。

中央電子システム株式会社様と共同で「高効率出力安定化発電装置及び流水式小水力発電システム」の特許を取得しました。(特許番号：特許第5600788号、特許第5600789号)

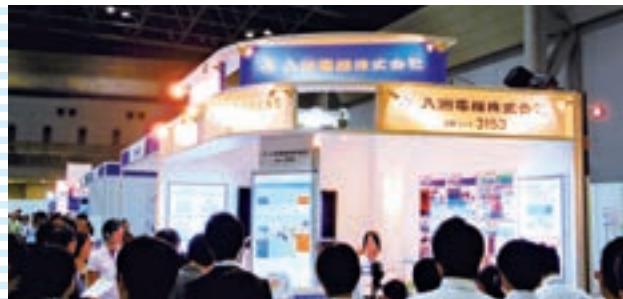
水力や風力などを利用し、回転して発電するシステムにおいて、従来までは、回転速度の変動によって処分していた電力がありましたが、今回特許を取得した装置を設置することによって、異なる回転速度で発電された電力でも安定的に利用できるようになります。

この発明の活用により「マイクロ水力発電システム」や「風力発電システム」の社会への更なる浸透を目指すとともに、環境配慮型社会に貢献してまいります。(詳細については特許庁HPをご確認ください。)



『日経IRフェア2014』に出展しました。

2014年8月29日、30日の2日間、東京ビッグサイトで開催された『日経IRフェア2014』に出展しました。当日は、たくさんの株主・個人投資家の皆様に、当社ブースやブース内で開催したミニ会社説明会にお立ち寄りいただきました。皆様より頂いた貴重なご意見・ご感想を活かし、今後も積極的なIR活動を行ってまいります。



BCP訓練

事業継続計画(BCP)の策定は、今や企業活動における最重要課題のひとつとなっています。そのようななか、当社は2014年9月18日に管理職を対象とした、BCP教育を行いました。今回の教育では地震発生の疑似体験を通し、各部門での役割の認識と緊急時対応の向上を図りました。



今後も定期的にBCPについての教育・訓練を実施してまいります。

『Renesas DevCon Japan2014』に出展しました。

2014年9月2日にザ・プリンスパークタワー東京で開催された『Renesas DevCon Japan2014』に出展しました。

イベントでは「一歩先の世界へ」をテーマに、ルネサスエレクトロニクス株式会社様およびそのパートナー58社が一堂に会し、ソリューションや最新技術・フォーカス分野の将来像を紹介しました。

当社も、ルネサスエレクトロニクス製マイコンとタッチエンス製ショックチップを組み合わせた『小型触覚センサモジュール』のデモ展示を行い、多くの来場者にご好評いただきました。

今後も、電子デバイスの供給に留まらず、基板実装の受託やルネサスエレクトロニクス製マイコン供給とセットでソフトウェア受託開発・受託製造などの多様なソリューションを実現してまいります。



2014年度 株主優待

当社は、東日本大震災発生時より復興支援活動に取り組んでまいりましたが、3年以上経過した今も、東北地方の復興が道半ばであることから、社会貢献活動として「東北復興支援活動に貢献!」を今年度の株主優待のテーマとしました。

当社はこのような活動を通し、継続的に復興を支援し社会貢献活動を行ってまいります。

株主優待についてより詳細な情報は裏表紙をご覧ください。

『エコプロダクツ2014』に出展します！

2014年12月11日より3日間にわたって開催される、『エコプロダクツ2014』に出展いたします。エコプロダクツ展は「持続可能な社会の実現」に向け、最先端の環境配慮製品や環境関連技術、多様な意見・アイデア等が結集する展示会であり、当社もブース内にてパネルやサンプルを展示し、事業を通じた環境への取組みを紹介いたします。

概要

- 催事名称: エコプロダクツ2014【第16回】
- 主催: (一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
- 会期: 2014年12月11日(木)~13日(土)
10:00~18:00(最終日は17:00まで)
- 会場: 東京ビッグサイト【東1~6ホール】(予定)
- 出展社数: 750社・団体
- 入場料: 無料

『東証IRフェスタ2015』に出展します！

今年度も『東証IRフェスタ2015』に出展いたします。当社へのご理解をより深めていただけるよう、ブース内にてミニ会社説明会の開催やパネルを展示し、事業内容等をわかりやすく説明いたします。ぜひご来場の上、当社ブースにお立ち寄りください。

概要

- 催事内容: 東証IRフェスタ2015
- 主催: 日本取引所グループ・東京証券取引所
- 会期: 2015年3月13日(金)10:00~19:00
14日(土)10:00~17:00
- 会場: 東京国際フォーラム B2F展示ホール1・2
- 出展社数: 80社(見込み)
- 入場料: 無料

Information

ホームページのご案内



当社ホームページは、「事業紹介」「株主・投資家の皆さまへ」「環境への取組み」等、当社に関するさまざまな情報を発信しております。ぜひご活用ください。

八洲電機
<http://www.yashimadenki.co.jp/>

本社ビル建替え状況

本社ビルは、新しいワークスタイルを目指したクリエイティブオフィスを創造するため、現在建替えを行っております。2014年5月30日(金)八洲の歴史が詰まった「八洲ビル」の解体工事が始まり、年内には更地になる予定です。建設予定の新社ビルでは、防災対策等BCPを充実させ、社員一人ひとりの生産性向上により収益力強化を図り、最新の環境・省エネ技術を駆使した環境配慮型ビルを実現します。

環境レポート

当社の環境と社会への取組みを一冊にまとめた「八洲の環境レポート2014」を発行しております。地球環境保全活動への取組みや実績、納入事例を中心としたCSR情報がひとめでわかるようになっております。当社ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



新橋「八洲ビル」
(2014年5月撮影)



解体用養生足場組立中
(2014年9月撮影)

会社の概況

商号 八洲電機株式会社
Yashima Denki Co., Ltd.
創立 1946年8月8日
資本金 1,585百万円
従業員数 連結974名 単体713名
本社 〒105-8686
東京都港区芝二丁目7番17号

役員

代表取締役会長 落合 憲
代表取締役社長 太田 明夫
常務取締役 松尾 裕之
取締役 今町 和至
取締役 芦田 敏
取締役 白石 誠仁
取締役 柴田 俊充
取締役 水本 洋二
監査役(常勤) 樋口 正宏
監査役(常勤) 下条 敏雅
監査役 宮 直仁
監査役 立石 則文

主要拠点

本社 〒105-8686 東京都港区芝二丁目7番17号 住友芝公園ビル
西日本支社(関西支店) 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原四丁目3番7号 理想新大阪ビル8F
西日本支社(中国支店) 〒730-0051 広島県広島市中区大手町三丁目8番1号 大手町中央ビル8F
岡山支店 〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町249番地5 倉敷商工会館5F

各事業所等
東北営業所、日立営業所、茨城営業所、鹿島営業所、千葉営業所、京浜営業所、長野電子営業所、知多営業所、堺営業所、関西物流センター、倉敷事業所、水島事務所、福山事業所、呉事務所、東予事務所、周南営業所、九州営業所、延岡営業所、佐世保連絡所

- 関係会社
- 株式会社ヤシマ・エコ・システム
〒120-0045 東京都足立区千住桜木一丁目10番4号
 - 株式会社中国パワーシステム
〒730-0011 広島県広島市中区基町11番13号 第一生命ビル3F
 - 株式会社テクノエイト
〒105-8686 東京都港区芝二丁目7番17号 住友芝公園ビル
 - 幸栄電機株式会社
〒739-1752 広島県広島市安佐北区上深川町701番1号
 - 香港八洲電機有限公司
Unit 803 8th Floor, Lippo Sun Plaza, No.28
Canton Road, Kowloon, Hong Kong
 - Yashima Denki Singapore Pte.Ltd.
7 Tampines Grande,#02-02 Hitachi Square,Singapore 528736
 - 八禧洲(上海)电机商贸有限公司
中国・上海市茂名南路205号 瑞金大厦 25楼 200020

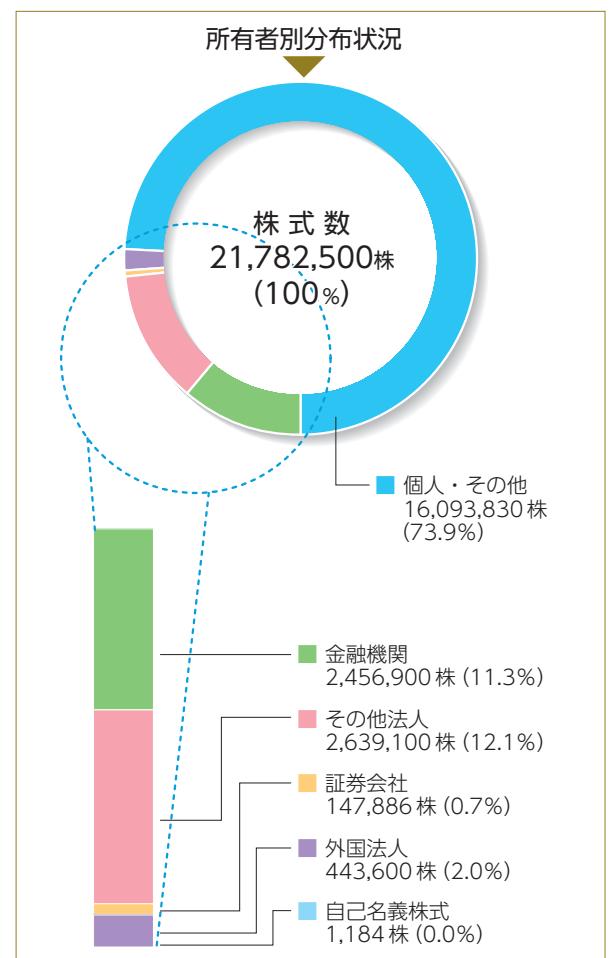
社名の由来

八洲電機の「八洲(ヤシマ)」とは、古事記や日本書紀に記されている、日本国の古称「大八洲」(八つの島)に由来し、創業者・落合完二の世界に通用する会社を築きたいという思いが込められています。
八洲の「八」は「未広がり」に通じるとともに、創業も8月8日であることから、社章のデザインにも採用し、未長い会社の発展を願ったものです。



株式の状況

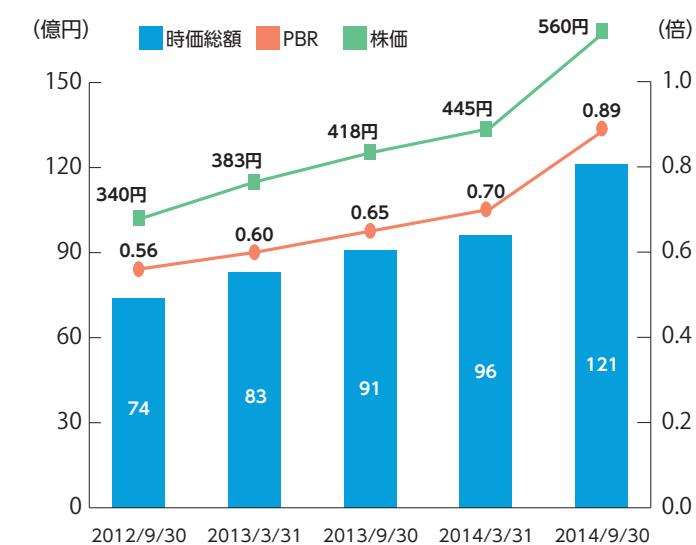
発行可能株式総数 50,000,000 株
発行済株式総数 21,782,500 株
株主数 23,615 名



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
公益財団法人 八洲環境技術振興財団	1,430	6.6
八洲電機従業員持株会	1,041	4.8
落合 憲	646	3.0
日立アプライアンス株式会社	487	2.2
嶽山 富美江	443	2.0
株式会社日立製作所	400	1.8
落合 永二	395	1.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	350	1.6
株式会社みずほ銀行	350	1.6
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	315	1.4

株式関連指標



株主優待制度のご案内

株主の皆様からのご支援に感謝するとともに、投資魅力を高め、より多くの方に株式を長期間保有していただくため、株主優待制度を導入いたしております。

対象となる株主様

2014年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上保有されている株主様といたします。

優待の内容

※内容が変更となる場合がございますのでご了承ください。



秋田名産
稲庭手延うどん



商品: 麺 140g×2 / つゆ 19ml×3



気仙沼名産
ふかひれ濃縮スープ



商品: 200g×3袋



山形県産
はえぬぎ 1kg



商品: 1kg



喜多方ラーメン「一平」
しょうゆ味 4食セット



商品: 麺 80g×2 / スープ 40g×2
×2箱セット



青森県産りんごジュースセット
金のねぶた 銀のねぶた 合合せ



商品: 195g各4缶 計8缶



岩手三陸釜石鮭三撰



商品:
焼鮭ほぐし / 鮭粕漬焼 / 鮭しぐれ煮
各60g×1

「東日本復興支援
ジェフグルメカード」
1,000円分

7

1,000円分のカードにつき10円が被災地の復興支援事業等に発券会社から寄付されます。



「緑の募金」への寄付
1,000円分

8

募金団体:
国土緑化推進機構
各都道府県緑化推進委員会



贈呈時期

来年1月下旬の発送を
予定しております。

※写真は一例であり、実際の商品と異なる
場合がございますのでご了承ください。

株主メモ

(2014年9月30日現在)

- 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
- 証券コード 3153
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定日 定時株主総会: 3月31日
利益配当: 3月31日および中間配当金の支払い
を行うときは9月30日
その他あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL: <http://www.yashimadenki.co.jp/>
※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 1単元の株式数 100株

- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL: 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。



八洲電機株式会社 <http://www.yashimadenki.co.jp/>

〒105-8686 東京都港区芝二丁目7番17号 TEL.03-3507-3711

